



# 千葉県の国際化施策 ～国際交流・協力と多文化共生社会づくりの取り組み～

千葉県総合企画部国際課

## 千葉県の国際化施策の概要

千葉県では、諸外国・地域との相互理解の促進、グローバル人材の育成を進めるとともに、国籍や言語・文化・習慣などにかかわらず全ての県民が共に安心して暮らし、活躍できる県づくりを進めています。

## 国際交流・協力の取り組み

### (1) 米国・ウィスコンシン州

ウィスコンシン州は、アメリカの中西部に位置し、工業・観光産業・酪農業のバランスの取れた工業州です。同州とは1990年に姉妹提携し、2004年に千葉県側に千葉ウィスコンシン協会が設立されて以降は、県民が主体となって、文化・教育の分野を中心に相互に友好使節団の派遣・受入をするなど、交流が進んでいます。



2021年、千葉県ウィスコンシン協会主催のウィスコンシン州出身新任ALT(外国語指導助手) 歓迎会における和楽器演奏体験

### (2) ドイツ・デュッセルドルフ市

デュッセルドルフ市は、ドイツ西部に位置し、欧州第3の規模の日本人コミュニティが存在するなど、日本人にとって大変重要な都市となっています。同市とは2005年以降、スポーツ・経済・文化など幅広い分野での交流を続け、2019年5月に姉妹都市になりました。千葉県では例年、同市で開催される大型日本紹介イベント「日本デー」に参加しており、3年ぶりの開催となった2022年5月も、60万人とされる来場者に対し千葉の魅力を発信しました。



2022年、「日本デー」における千葉県PRブース

### (3) 台湾・桃園市

桃園市は、台湾北部に位置し、空の玄関口である台湾桃園国際空港が立地するなど、千葉県と共通点が多くみられる都市です。同市とは2016年の友好交流協定締結以降、スポーツ・文化などの分野で交流を行っています。2021年は、知事と市長との間でWEB会談を行っており、コロナ禍においても、積極的に交流を継続しています。

### (4) 国際協力

日本は世界の約35%のヨウ素を産出しており、日本国内で生産されるヨウ素の約8割が千葉県産です。海産物に乏しいマダガスカル共和国ではヨウ素欠乏症が深刻な問題となっていることから、日本ヨウ素工業会・成長科学協会・京葉天然ガス協議会と連携し、2018年から同国にヨウ素を提供しています。



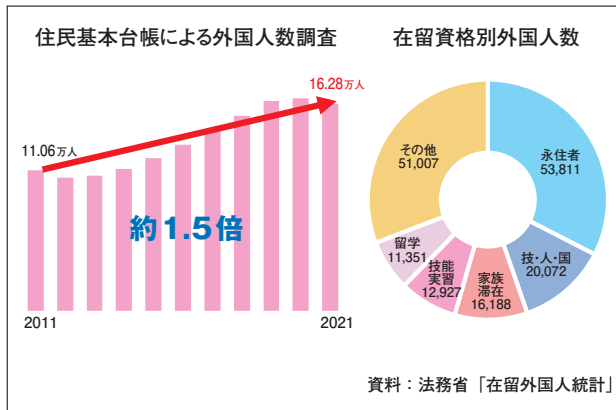
2022年、マダガスカル共和国へのヨウ素贈呈式

## 多文化共生社会づくりの取り組み

### (1) 千葉県の外国人数の状況

千葉県国際課の調査では、2021 年末外国人数は 16 万 2,830 人で、過去 10 年で約 1.5 倍に増加しており、県民の約 2.6%を占めています。

在留資格別にみると、2021 年末時点で永住者、技術・人文知識・国際業務、家族滞在、技能実習、留学の順となっており、比較的長期滞在者が多い状況といえます。



### (2) 地域日本語教育の推進

外国人県民が地域の一員として安心して暮らすには、日本語を学べる環境の充実が重要であることから、2020 年度に県内の実態を調査し、課題と取り組みをまとめた事業プランを策定しました。

事業プランでは、目標として、①ニーズに応じて日本語教育が受けられる環境の整備と、②日本語教育の関係者が連携・協働してそれぞれの役割を果たす体制づくり、の 2つを掲げています。

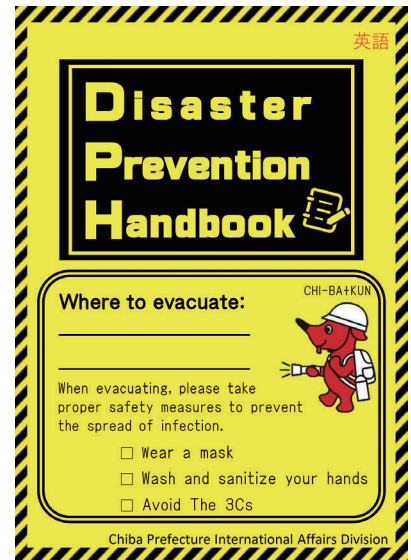
このため、県国際交流センターに日本語教育のコーディネーターを置いて、日本語学習支援者の育成研修などを実施するとともに、市町村などからの相談に応じ、新規教室の立上げを支援しています。

また、今年度は、県内に受け入れたウクライナ避難民を支援するために、基礎日本語教室も開催しているところです。

### (3) 災害時の支援

千葉県では、市町村や県国際交流センターと連携して「災害時外国人サポーター養成講座」を開催しています。また、外国人県民向けに、非常備蓄品や地震・風水害の時の心得をまとめたガイドを、やさしい日本語、英語、中国語で作成しています。

一方、発災時には、県国際交流センター内に「災害時多言語支援センター」を設置して、①災害情報の多言語での発信、②翻訳など市町村の支援、③避難所へ語学ボランティアの派遣、④外国人県民からの電話相談な



「ぼうさいあんしんノート」(英語版)

などの活動を行うこととしています。2021 年の台風 16 号の接近時には、同センターを開設してホームページで多言語での情報提供を行いました。

### (4) 多文化共生社会づくり

外国人県民の方を「チーバくんパートナー」として任命し、その視点を県政に生かす取り組みも進めています。2022 年度は、22 名の方を任命して、意見交換会への参加やアンケートの協力、防災や新型コロナウイルス感染防止など県からの情報を広報する活動を行っていただいています。

一方、県民向けには講演会を開催して、多文化共生意識の醸成を図っています。また、県内企業からの依頼に応じ、多文化共生に係る現状と取り組みなどについて理解を深める講義を実施しています。



2022 年、「チーバくんパートナー」任命式

## おわりに

コロナ禍により、国際交流の手法は大きな変革を迫られることになりましたが、今後も県民の皆様と共に国際化推進に取り組んでまいります。